

福島第一原子力発電所 一時保管エリアに保管している コンテナの外観目視点検の進捗状況について

< 参 考 資 料 >
2021年7月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所構内において発生したガレキ類や使用済保護衣等の廃棄物については、敷地周辺への放射線の影響および作業員の被ばくを低減する観点から、実施計画に基づき、廃棄物（※1）の表面線量率やコンテナの内容物に応じて保管エリアを設定し、その保管エリアごとに管理を行っております。
- 上記管理を行っていたものの、一時保管エリアW2において、廃棄物を保管していたコンテナ（1基）の底部に溜まっていた水が漏えいしたことを踏まえ、速やかに以下の点検・確認を行うこととしました。
 - ① バウンダリ機能が必要（※2）なコンテナ（5,338基※3）の外観目視点検
 - ② 内容物が把握できていないコンテナ（4,011基※3）の内容物確認（以上、5月20日までにお知らせ済み）
- 4月15日より外観目視点検を開始し、6月30日時点で5,338基中、3,467基の確認が完了していますが、現時点で、6月1日に一時保管エリアXのコンテナ1基で確認された漏えい事案（6月1日お知らせ済）を除き、水の漏えいがないことを目視確認およびコンテナ外表面の線量当量率測定により確認しています。また、一時保管エリア付近の側溝や溜枘直近の線量当量率を定点測定し、有意な変動が無いことを確認しています。
- なお、6月1日に一時保管エリアXのコンテナから漏えいが確認されたことを踏まえ、当該エリアにおける点検を一時中断し、今後の点検時に、コンテナから水が漏えいするリスクを考慮し、以下の安全対策を講じました。対策の準備が整ったことから、昨日（6月30日）より一時保管エリアXにおける外観目視点検を再開しました。
 - ① 外観目視点検のためのコンテナ移動前に、サーモグラフィを使用し、外部からコンテナ内部の水の有無を確認
 - ② コンテナ移動時に水が漏えいする可能性があるコンテナについては、移動前に蓋と本体の間に、漏えい防止のための発泡ウレタン等を充填
- また、その他エリアにおいても、腐食が著しい箇所等に補修を行いながら点検を実施したこと、および一時保管エリアの現場状況に合わせて使用する重機の変更を行ったこと等により、進捗状況に遅れが生じたことから、外観目視点検の完了時期が、当初予定していた6月末から7月末になる見通しです。
- 引き続き、安全を最優先に、作業を行ってまいります。

※1：廃棄物をコンテナに詰めた場合は、コンテナの表面線量率による

※2：シート養生やコンテナ収納が必要となる、表面線量率が0.1mSv/h以上（ガンマ）、または0.01mSv/h以上（ベータ）のガレキ類

※3：5,338基（*）と4,011基のうち3,426基は同じコンテナであり、①②の対象コンテナ総数は5,923基となる

*：5,388基から5,338基へ訂正（訂正日：2021年7月2日）

【参考】コンテナ外観目視点検の進捗状況

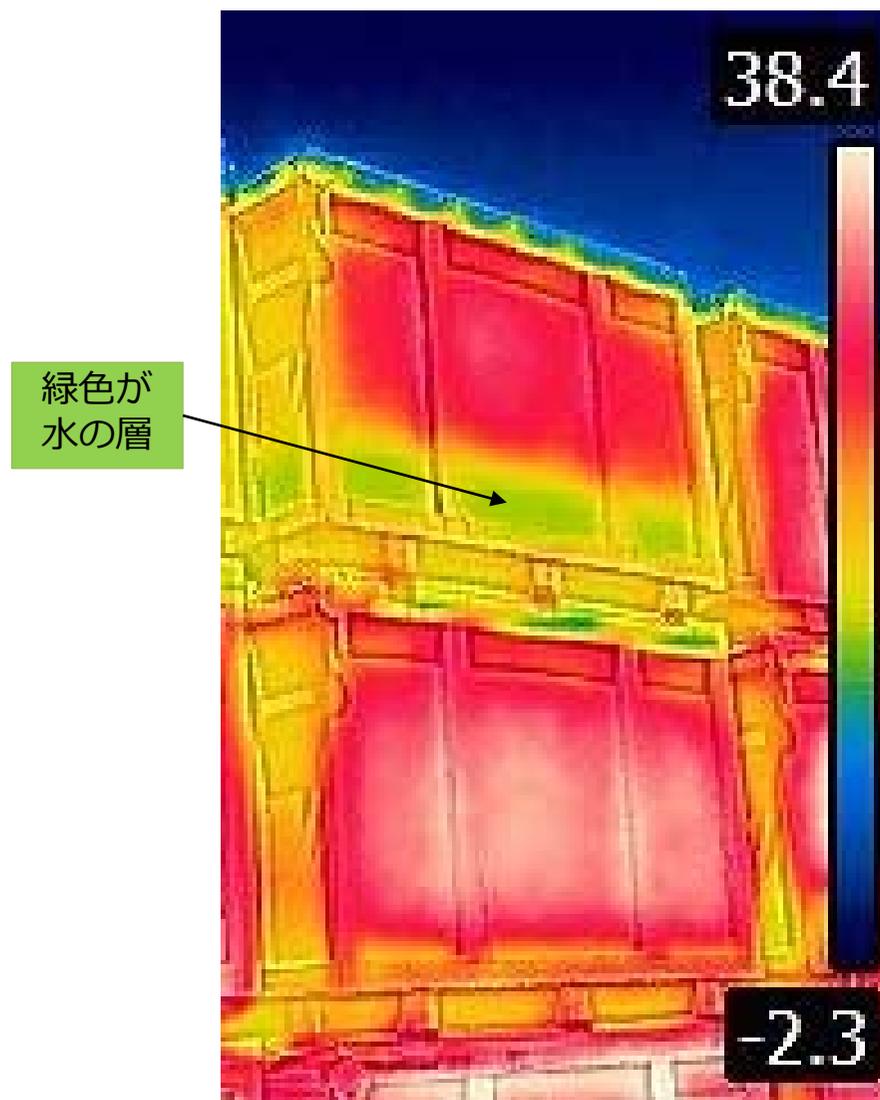
- ✓ 点検が完了している3,467基のコンテナのうち、548基のコンテナにおいて、著しい腐食やへこみを確認（6月30日時点）。当該コンテナについては、全数速やかに養生テープによる補修を実施。
- ✓ また、6月1日にお知らせしたコンテナ1基からの漏えい事案を除き、水の漏えいがないことを目視確認およびコンテナ外表面の線量当量率測定により確認。さらに、一時保管エリア付近の側溝や溜枳直近の線量当量率を定点測定し、有意な変動が無いことを確認。

点検エリア	点検対象総基数	点検完了基数		点検未完了基数
			腐食等確認基数 ※すべて補修済	
E 1	1,598	1,180	376	418
E 2	428	428	19	0
F 1	99	55	22	44
P 2	361	108	3	253
X	1,363	667	109	696
W 1	1,489	1,029	19	460
合計	5,338	3,467	548	1,871

【参考】 コンテナ内部の水の有無の確認方法



サーモグラフィ



サーモグラフィ画像

【参考】モニタリング状況

- ▶ バウンダリ機能（容器・シート養生）が必要なコンテナを保管している一時保管エリアのモニタリングを以下の通り強化

＜コンテナの外観目視点検中のモニタリング強化＞

- ✓ コンテナから放射性物質が漏えいしていないことを確認するため、一時保管エリアの排水経路となっている側溝や溜枘直近の線量当量率（70 μ m、1cm）を1回/日（日曜日除く）定点測定し、有意な変動が無いことを確認する（5月20日から実施済み）

＜一時保管エリアのモニタリング＞

- ✓ コンテナを移動した都度、移動前に定置していた地表面の線量当量率（70 μ m、1cm）を測定し、コンテナから漏えいが無いことを確認する（5月20日から実施済み）
- ✓ エリア巡視および空間線量率測定（1回/週）、空气中放射性物質濃度測定（1回/3ヵ月）（継続）

＜雨水排水のモニタリング＞

- ✓ 一時保管エリアの雨水排水経路である陳場沢川（1回/1ヵ月）、物揚場排水路（連続）のモニタリング（継続）